

(別紙2-1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 12 月 6 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	4270201637		
法人名	特定非営利活動法人 つくも福祉グループ		
事業所名	グループホーム大和		
所在地	長崎県佐世保市大和町 114 番地 2		
自己評価作成日	平成 25 年 10 月 30 日	評価結果市町受理日	平成 25 年 12 月 26 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活法人 ローカルネット日本評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目 7217 島原商工会議所 1 階
訪問調査日	平成 25 年 11 月 20 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的な雰囲気大切にしており、利用者・職員の信頼関係も深く、昔ながらの大家族といった感じです。“その人らしくいきいきと”をモットーに、いつも笑顔の絶えない優しさに溢れた明るいホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は住宅密集地の一角に位置しており、地域との一体感があるホームである。開設当初は地域との触れ合いもなく管理者を筆頭に地道な地域との交流を継続され、公民館長、民生委員その他地域住民との信頼関係を構築された結果、現在では地域にとって無くてはならない事業所として認知されている。事業所方針の一つに利用者が支援を受けながらも便座に座っての排泄を重要視されており利用者個々の持てる力を奪わないための支援方法を職員全員で共有し取組まれており、入居者本位の支援が行われている事業所である。

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の中で地域の方々と共に、不安なく過ごしやすいグループホームを創り上げていきたいと考えており、それが理念に掲げられ、実践に繋がっている。	『地域に愛される』との理念の基で、一例として事業所の近くに畑を借りて種蒔から収穫までの作業通じ、スタッフと地域の人、利用者との触れ合いを大切にし共有を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	公民館行事への参加を積極的に行っている。また、地域住民の方々がホームの行事へ参加くださったりと交流は活発である。	事業所主催の秋祭りに地域の方を招待し、タオル、ティッシュの配布を行ったり公民館で介護教室を開催し介護保険説明会、グループホームと地域との関係等の講演を行う等、積極的な交流が行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	老人会で、認知症について話をしたり、体操の指導をする等、支援の体制が出来始めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、毎回貴重なご意見をいただいております。常に意識しながら、サービスの向上に繋がっている。	民生委員の提案により畑を借り、色々な野菜を育てていく中で地域交流を深める等随時提案を受けサービス向上に努めている。	推進会議の内容は事業所の活動状況を外部に表明するツールです。利用者家族へ事業所たより等を活用しての会議報告を検討が望まれる。
5	4	○市町との連携 市町担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	去年の5月から居宅支援事業を施設内で立ち上げており、その関係上、市町との連携が取れるようになってきている。	市担当者とは窓口訪問時の各種相談等を通じ交流を図っている。介護教室開催の提案があり地区公民館で開催する等連携を図っている。	

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束は、行わないことを旨としており、実際に行ったことはない。</p>	<p>緊急時の対応として同意書などの準備はしているが基本的に見守りの対応である。施設長はグループホーム連絡協議会の身体拘束廃止委員であり、職員研修も随時行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ホーム内外の研修により学んでおり、虐待は行わない、見過ごさない様、心掛けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>以前、介護予防事業として口腔機能向上や認知症予防等の委託を市から受けていたことや介護教室の開催等を行うことにより必要性を感じ学んでいる。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分な説明を行いご理解いただいている。また、改定を行う際には、必ず家族会で話し合いを行う様にしており、不安や疑問への対応も行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会の中で意見や要望を伺い、その都度話し合いをしている。また、来施された際にもご意見やご相談など、気軽に話していただけるよう努めている。</p>	<p>家族へは年2回の家族会、随時の来所時などの機会を通じ話合っている。利用者毎に担当者を決めており話し易い雰囲気作りを行っている。家賃改定時にも家族よりの意見を参考にして改定を行った。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月1回行っている勉強会や日々のミーティングで、必ず職員の意見を聞くようにしている。また話の中でいいと思ったことは実践し反映させている。</p>	<p>毎月日時を決め全員参加しての勉強会、ミーティングなどの機会に意見交換を行っている。職員意見により、リネン交換表を作成し活用の取組が行われた。</p>	

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>働きがいのある楽しい職場を作り上げていきたいと切望しており、職員と共にその環境を目指したいと考えている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員個々のスキルアップが介護の質を上げていくことに繋がるので、研修等で学ぶ機会を大切にし、研修を受けやすい環境を整えるよう心掛けている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>管理者は、グループホーム連絡協議会の理事を務めており様々な活動を行い、同業者と交流を図りながら、サービスの質の向上に繋げている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人の話を傾聴し、困っていることや不安がないか探り、一緒に考えたりすることで共感の姿勢を示し、信頼していただけるよう心掛けている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人同様、不安や要望、ご本人への思い等、じっくりと話を伺い、話のしやすい雰囲気や環境を提供出来る様、心掛けている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>いくつかのケースを提案し、出来る限り現状やニーズにあったサービスを選んでいただけるよう対応している。</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホームにおいて利用者・職員は家族同様の関係を築くことを目指しており、学び合い・支え合って生活している。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族ぐるみの付き合いが出来る様、コミュニケーションを図り、情報を共有しながら、ご家族と共にサポートしている。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	誰もが来易い開放されたホームを目指し、利用者の方の友人・知人にも来ていただける様、行事の案内を行ったり、電話をかけたリ手紙を出したりといったサポートを行っている。	支援活動で把握した情報は支援経過に記録すると共に担当職員が主体となり手紙等を活用した関係継続の支援を行っている。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日行っているレクリエーションや作業療法でコミュニケーションを図ることにより、利用者間の友好な関係を築いている。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご縁のあった方との関係は大切であると考えており、必要であれば、相談に乗らせていただいている。また、退所後、住所を残されていらっしゃる方もあり、郵便物をお預かりしている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来る限り、ご本人の意向を尊重したいと考えており、言動・行動・しぐさ等から汲み取るようにしている。また、ご家族の要望も参考にさせていただいている。	担当職員をメインに支援活動を通じての情報収集、家族、友人等からの聞き取りを支援記録に記入し共有化を図ると共に関係先との継続支援を行っている。	

24	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活歴をとらせていただいている。その後は、新しい情報がある度、追記するようにしている。		
25	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	状態の変化がないか、申し送り等での情報の共有を徹底し、お一人お一人のその時々々の状況に応じた対応をするように心がけている。		
26	10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族会で担当者をご家族、可能であればご本人も含め、ご意見やご要望を伺う様にしている。また、主治医と、ご本人の留意点などがないか話し合い、介護計画に反映している。	担当制の下、担当職員が中心となり支援を行い、モニタリング後担当者会議を経て介護計画書の作成及び随時の見直しを行っている。本人、家族へは事前に希望等把握し介護計画書に反映している。	
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	出来るだけ、日々の様子やケアの実践は記録に残していく様に努めている。また、知り得た情報の中でも特に重要なものは、申し送りで伝えるようにしており、情報の共有を図っている。		
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人の個性を尊重し、個別への柔軟な対応を心がけ、病院や買い物の付き添いまたは、代行等、様々なニーズに答えられる様、取り組んでいる。		
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の民生委員の方や公民館役員の方達のお力添えをいただきながら、利用者の方々がそれぞれにあった地域資源を利用出来る様、支援している。		
30	11 ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医には月に1度、往診を行っていただいております。状態の把握に努めています。また、必要な場合は主治医の診断をご家族に伝え、今後の方針を決めていく様にしている。	利用者全員事業所の指定医がかかりつけ医であり定期的な往診が行われている。歯科等の専門医受診は基本的に家族の対応であるが同行支援も行われている。	

31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師は、介護職員同様に勤務しており、普段から医療との連携を図れる体制が出来ている。		
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院なさった場合は、事情の説明等を行い、早期退院が出来る様に努めている。また、普段より情報交換を行ったりしている。		
33	12 ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の話は、毎回、家族会でも議題にあげ、現在どのように考えていらっしゃるか伺う様にしている。また、ターミナルを行う場合は、現在から今後の予想を含め、状況の説明を行い、意向を聞き出すようにしており、プランに組み込んでいる。	家族の意向を受け提携医の協力を得ながら支援を行っている。職員への心理的負担軽減のために定期的な研修、緊急時の連絡体制も確立している。	
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に、対応法についての話をしており、必要時は、資料で確認している。また、定期的に、救命講習等へ行く様、促している。		
35	13 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の総合消防訓練等で、緊急時の対応を学んでいる。また、近隣の方との協力体制も火災通報装置への電話番号登録などで協力いただいている。	職員、利用者参加での定期的な訓練が実施されている。緊急時の受入施設についてはGH連絡協議会で相互に連携の体制が出来ている。	緊急時対策の一環として備蓄完備及び備蓄一覧表作成、避難場所変更に伴う家族への周知に期待したい。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人お一人に個性があり、様々な考えがあるの 利用者を尊重した声掛けの下プライバシーに配慮した支援が行われている。個人情報、各種支援記録は事務所内の適切な場所に各々保管管理されている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	家族同様の付き合いをし、思いや希望をいつでも表せる環境を目指している。また、普段から言動や表情を気にかけて、思いを汲み取る様、心がけている。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな1日の流れはあるが、それに捉われてしまうのではなく、ゆったりとした流れの中で、個々にあった1日を送っていただける様、支援している。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服選びを一緒に行ったり、整髪や整容など、なるべくご本人の意向に沿う様に心がけている。また、職員に理容師がいるので、好みのお洒落を楽しんでいただいている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は、生活の流れの大きな要素であり、それを一緒に作ったり食べたりすることで、楽しいものとなる様、心がけている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量のチェックは毎日行っており、体重の変化等と照らし合わせ、個別での対応を行っている。また、水分量にも留意し、1日1～2リットルを目安としている。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアは、習慣としており、レベルに応じて個別対応している。



43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中はトイレでの排泄を基本としており、必要な場合はチェック表をつけ、個人の排泄パターンを知ることにより、おむつの使用量も減らしている。	排泄パターンを把握し声掛け誘導により利用者本人がトイレでの排泄が行える様な支援が行われている。夜間も利用者夫々の持てる力を活かした排泄支援が行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘のある方に対しては、医師との連携を図り、服薬にてコントロールを行っている。また、食事のバランスや日々の運動で便秘になりにくい体づくりを目指している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	日勤帯での入浴を行っている。そういった意味では、職員の都合とも言えるが、現在のところ、夜間の入浴希望はあっていない。	季節ごとに柚子湯菖蒲湯等楽しみ工夫を行っている。拒否の利用者については適切な言葉掛けにより対応されている。介助は職員2名で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入眠のタイミングは、個々にお任せしている。安眠していただける様、温度管理を行い、必要な方には眠剤を医師の指示の下、投薬しており、休息の支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬に関しては、処方薬の説明書に必ず目を通し、その後も保管し、いつでも見れる様にしてある。また、特に注意の必要なものに関しては、更に詳しく確認している。		

48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人お一人の趣味や嗜好、得意分野を活かせる様、レクリエーション等に取り入れながら、無理強いはせず楽しんでいただける様に支援している。		
49	18 ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	いつでも出入り出来る様に玄関は開放しており、ホーム前の坂を散歩なさったりされている。また自力で外出出来ない方も介助にて、散歩や日光浴を楽しんでいただいている。	玄関は日中施錠はされなく何時でも自由に外出可能である。行事プログラムに季節ごとの外出支援を組入れ花見、観光地訪問等の支援が行われている。	
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金が使える方に対しては、所持していただいていたが、紛失されるといったことが相次いだ為、現在は、預かせていただき、使用される際にお渡ししている。		
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は、希望があればいつでもかけられるようにしており、必要であれば、かけて渡す等の支援をしている。また、書かれた郵便物をポストに入れたりといったサポートもしている。		
52	19 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	環境整備には気を配り、快適に過ごしていただける様、季節の花や壁掛けを飾り、心地よく過ごしていただける様、工夫している。	リビング兼食堂には季節感を感じる様なタペストリーを飾ったり夏季は日除け効果も兼ねたゴーヤのカーテンを作ったりと、職員手作りによる工夫の跡が窺え利用者にとって過し易い環境が提供されている。	
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	所々にソファを設置し、思い思いにお喋りや休憩が出来る様、配慮している。また、外のプランターに季節の花を植えており、プチガーデンを楽しめるようにしている。		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に必ず使い慣れた馴染みの物を持って来ていただく様に話しており、ご本人の居場所づくりに活かす工夫をしている。	居室には利用者の想い出の品、写真等自由に持込まれている。建物の構造上和風の趣きで落ち着いた居室である。職員による清掃、室温、湿度の管理も行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内の廊下や階段、トイレには、手摺を設置し、出来るだけ自身の能力を活かせる様にしている。また、迷うことの無い様、場所や注意事項を貼り出している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない